

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
クイーンカップ	別定	GIII	東京	芝1600m	良想定	平坦	中荒れ	E

※文字色の意味

2021/2/14

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	スライリー	石川	オルフェーヴル	ステイゴールド	ディーブインパクト	ディーブインパクト	54	D	D	C	C	C	D	13	消	
2	ククナ	ルメール	キングカメハメハ	キングマンボ	ディーブインパクト	ディーブインパクト	54	A	B	A	B	B	A	1	◎	
3	インズシーラブリ	三浦	ディーブインパクト	ディーブインパクト	ファルブラヴ	ノーザンダンサー	54	C	C	C	B	C	C	10	消	
4	リフレイム	木幡巧	American Pharoah	ミスターオブザクラ	Tapit	エービーインディ	54	C	C	C	D	C	D	4	消	
5	メインターゲット	田辺	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Silver Deputy	ゲイストリジェント	54	C	D	B	A	C	D	16	消	
6	アカイトリノムスメ	戸崎	ディーブインパクト	ディーブインパクト	キングカメハメハ	キングマンボ	54	C	B	C	A	B	C	2	△2	
7	ステラリア	福永	キズナ	ディーブインパクト	Motivator	サドラーズウェルズ	54	B	D	D	C	C	D	3	消	
8	カイトゲニー	柴田大	カレンブラックヒル	サンデーサイレンス	ティンバ-カントリー	ミスターオブザクラ	54	C	C	B	B	B	B	14	○	
9	アールドヴィーヴル	松山	キングカメハメハ	キングマンボ	ディーブインパクト	ディーブインパクト	54	A	D	D	C	D	D	5	消	
10	サルビア	横山典	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Mamool	サドラーズウェルズ	54	C	D	B	B	D	D	12	消	
11	エイシンヒテン	団野	エイシンヒカリ	ディーブインパクト	エイシンワシントン	ダマスカス	54	B	B	B	C	C	B	7	▲	
12	カナリキケン	Mデム-ロ	ジャスタウェイ	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	54	C	B	B	C	B	C	11	☆	
13	ミヤビハイディ	吉田豊	エビファネイア	ロベルト	ハーツクライ	サンデーサイレンス	54	C	B	C	C	B	C	15	△1	
14	インフィナイト	北村友	モーリス	ロベルト	アグネスデジタル	ミスターオブザクラ	54	C	D	D	C	C	D	8	消	
15	レッジャードロ	藤田菜	ドゥラメンテ	キングマンボ	Bluegrass Cat	ストームキャット	54	C	C	D	C	C	D	6	消	
16	ハッピーオーサム	岩田望	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Awesome Gambler	ミスターオブザクラ	54	C	D	D	A	D	D	9	消	

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW

東京芝1600mは普通のマイル戦ならば息を入れられるコーナー部分が下り坂になっているために中盤ラップが緩みにくいのが特徴。エイシンヒテンはある程度スピードを活かして飛ばして逃げると思いますが、今回のクイーンカップはその東京芝1600mのラップ的特徴そのままの流れになるか。まだキャリアの浅い3歳牝馬のほとんどが、マイル戦と言っても中盤部分が緩んでの直線の瞬発力勝負ばかりを経験しているわけで、息の入らない持続カラップのマイル戦というのは今回が初めてという馬ばかりになる。そんなレースに対応できるかがクイーンカップの予想の最重要ポイントだろう。

本命は人気でも◎ククナが最もレース傾向的に好走パターンに合致するようと思います。アルテミスSのレース後回顧にもソダシ以上の評価をしていた馬。シンザン記念はイン伸び馬場で大外枠で位置が取れず、前残りの流れで差し損ねての4着。綺麗な走りをする馬だけにタフな馬場も向いていなかったか。今回は高速馬場の東京コース替わりは良さそうですし、ここは何が何でも賞金を加算しなければいけないレース。鞍上の手腕にも期待したい。

REVIEW

コース特徴
東京マイル戦は3コーナーから下り坂になるために中盤ラップが緩まない持続力勝負になりやすい。

馬場レベル&バイアス
B=やや高速

血統傾向
びっくりするほどにクロフネ=ヴァイスリージェントの活躍が目立っている。持続力が活きるレースなのでダイワメジャー産駒の成績も優秀。

展開
エイシンヒテンの逃げが濃厚。マイペースで淡々と流れそう、息の入らない流れに対応できる馬が上位に来るか。

データなど特記事項
○1.2番人気 (8-2-3-7) △10番人気以下 (0-0-1-28)
○東東 (4-3-3-21) 12.9% 22.6% 32.3%
×関西馬で当日7番人気以下 (0-0-0-13)
×前走1勝クラスで4着以下 (0-0-0-20)
△前走差0.6秒以上負け (0-0-3-35)
△前走1500m以下 (0-1-0-21) △間隔中2週以内 (0-0-1-25)

危険な馬
ステラリア=父がキズナで母サドラーズウェルズというディーブインパクトのような配合の馬。デビューしてから2戦がマイル以下の距離で勝ちあぐねてからタフ馬場の芝1800mで一氣にパフォーマンスを上げたのを見てもうそういう馬ということだろう。

妙味大な馬
ククナ=アルテミスSのレース後回顧にもソダシ以上の評価をしていた馬。シンザン記念はイン伸び馬場で大外枠で位置が取れず、前残りの流れで差し損ねての4着。綺麗な走りをする馬だけにタフな馬場も向いていなかったか。今回は高速馬場の東京コース替わりは良さそう。

穴馬
カイトゲニー=カレンブラックヒル産駒のイメージそのままの馬で、とにかく前に行って淡とさきを活かせば強い馬。未勝利勝ちもかなり強いパフォーマンスでしたし、左回りのマイル戦で持続力を活かす競馬なら普通にやれていいか。鞍上が不安だが、スマイルカナのイメージで乗ってくれば・・・

想定時計	上3F	下3F
01:32:5	34.7	34.4
想定ラップタイム	12.4 -10.9 -11.4 -11.7 -11.7 -11.5 -11.2 -11.7	

Copyright (C) 2014 - KAZ
All Rights Reserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

